



平成 25 年 3 月 4 日

各 位

会 社 名 株式会社免疫生物研究所  
(コード番号：4570)  
本店所在地 群馬県藤岡市中字東田 1091 番地 1  
代 表 者 代表取締役社長 清 藤 勉  
問 合 せ 先 取締役経営企画室長 木 下 憲 明  
電 話 番 号 0274-22-2889 (代表)  
U R L <http://www.ibl-japan.co.jp>

## 遺伝子組換えカイコ由来「ヒト・コラーゲン」の「INCI 名」取得について

当社では、遺伝子組換えカイコの繭にタンパク質を発現させる技術を利用してヒト・コラーゲンを大量生産させることに成功し、化粧品原料としての販売活動を進めております。この度、新規化粧品原料として「INCI 名」を取得することができましたのでお知らせいたします。

### 【概要】

「INCI 名」とは、米国化粧品工業会（PCPC：The Personal Care Products Council）の国際命名法委員会（INC：International Nomenclature Committee）において化粧品原料国際命名法（INCI：International Nomenclature of Cosmetic Ingredient）に従って作成された化粧品成分の国際的表示名称です。

この度、弊社のネオシルク<sup>®</sup>、<sup>※注</sup>ヒト・コラーゲン I について INCI 名を取得することができ、その名称は「Transgenic Silkworm rh-Polypeptide-47」となります。

なお、日本で流通する化粧品については全成分表示義務が定められているため、さらに「INCI 名」に対応する日本語の翻訳名「表示名称」の取得を日本化粧品工業連合会に申請してまいります。

ネオシルク<sup>®</sup>ヒト・コラーゲン I は、遺伝子組換えカイコの繭に発現させたもので、現在使用されている魚や豚等の異種タンパク質から生産されるコラーゲンとは異なる、今までにない全く新しい化粧品原料です。

この繭には、組換え遺伝子は含まれておらず、純粋にヒト由来のコラーゲンと同等なアミノ酸骨格を有するもので、カイコの繭から生産することにより、安全性が高く、消費者の皆様が安心してお使いいただける化粧品原料であると考えております。

この度の「INCI 名」取得とそれに続く「表示名称」の取得により、新規化粧品原料として全世界に販売活動を行うことが出来、世界の化粧品業界において、ヒト由来のコラーゲンが飛躍的に利用されるようになることを期待しております。

注；「ネオシルク」は株式会社免疫生物研究所の登録商標です。(登録第 5412217 号)

以上